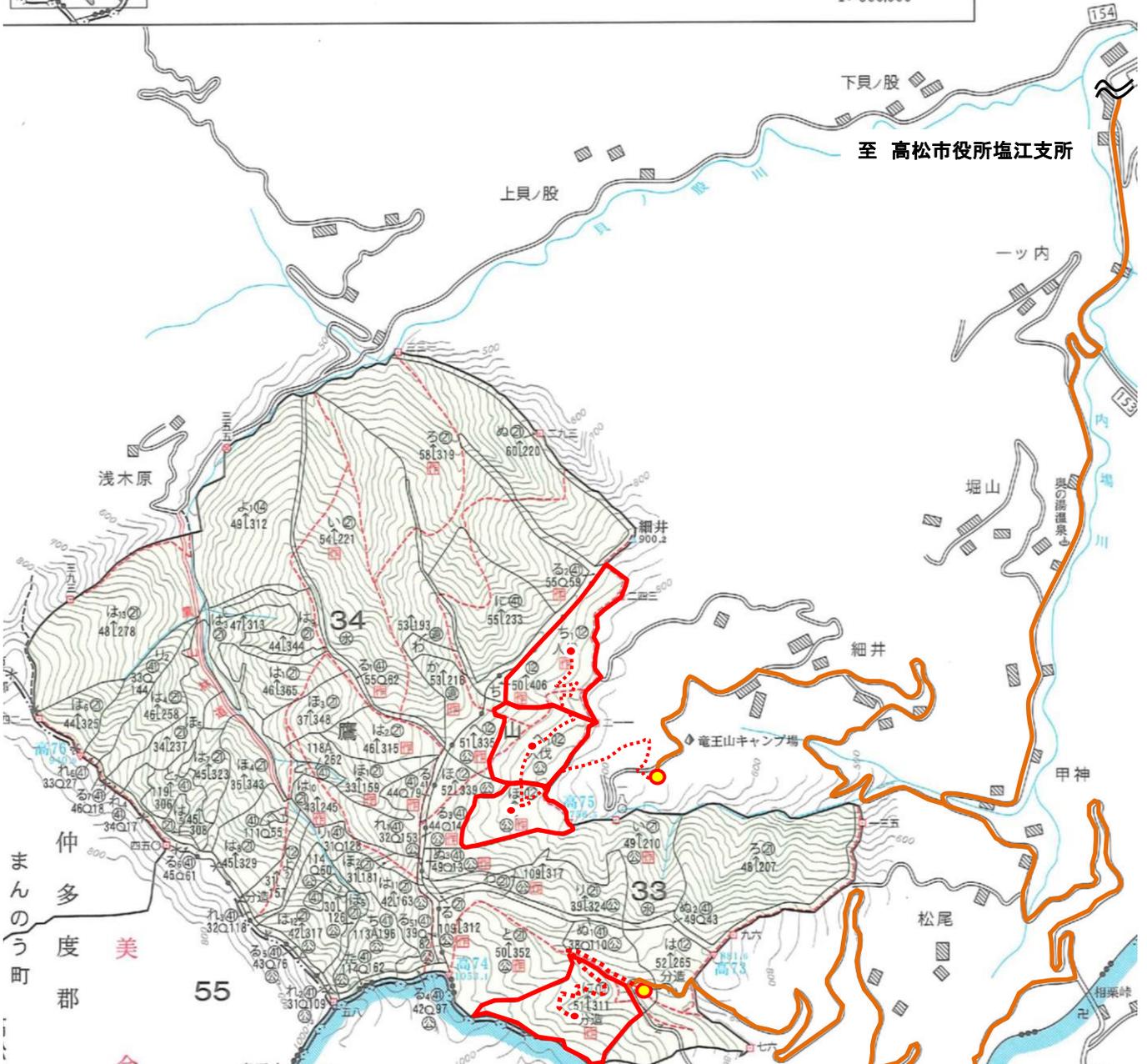


令和7年度
シカ防護柵に係る施設点検業務委託箇所(位置図)

鷹山国有林 33に林小班

縮尺: 1/20,000

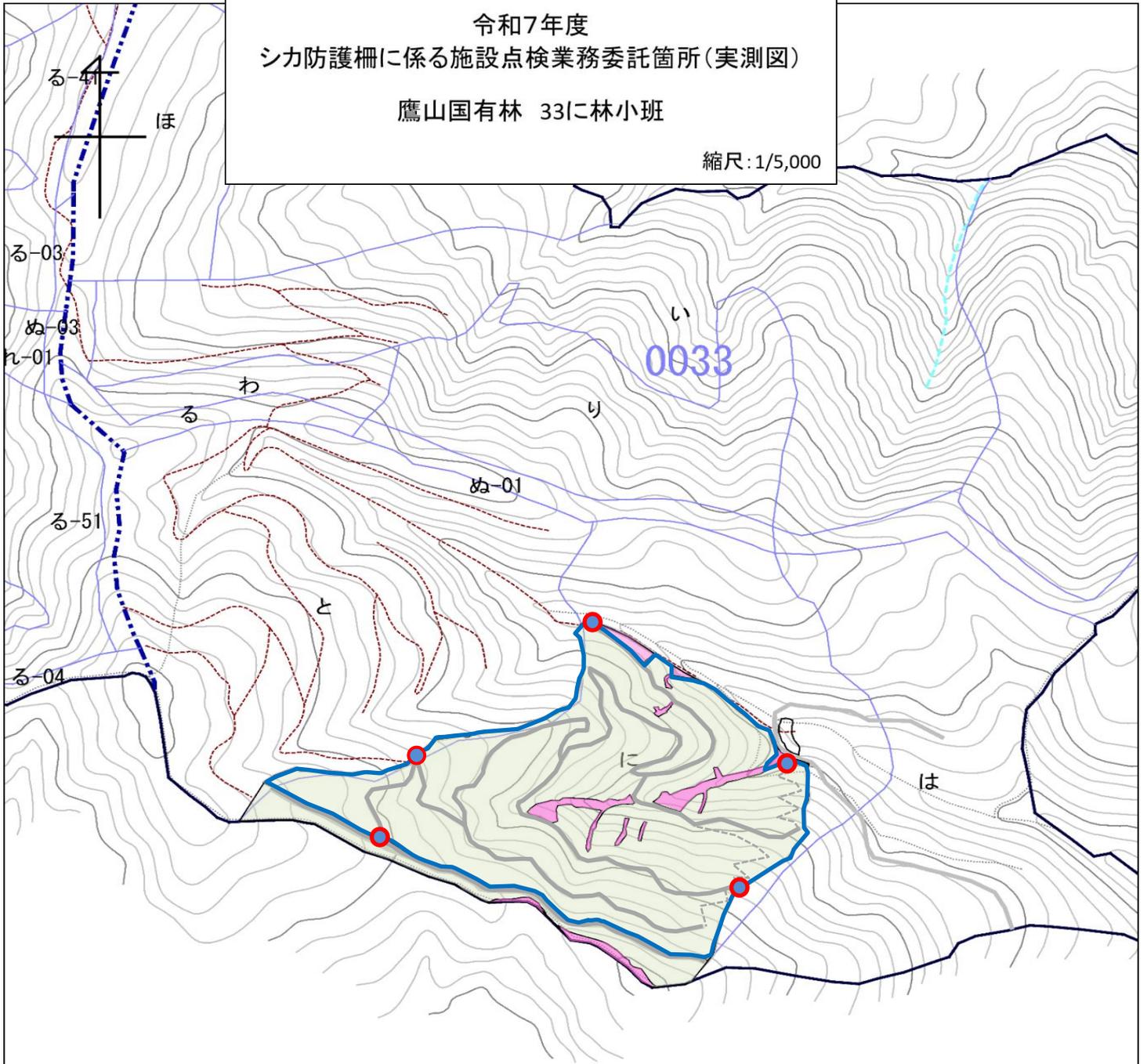


記番	林小班	通勤時間(片道km)					備考
		2車線	1車線	未舗装	徒歩	距離計	
1	33に	5.9	13.5	0.0	0.8	20.2	高松市塩江支所から
1	33ほ1	5.9	10.3	0.0	0.8	17.0	"
2	33へ1	5.9	10.3	0.0	1.0	17.2	"
3	33ち1	5.9	10.3	0.0	1.4	17.6	"

凡 例	
請 負 箇 所	○
通 勤 人 員 輸 送 車 経 路	〰
徒 歩	⋯
乗 下 車 地 点	●
作 業 現 場 の 中 心 地 点	●

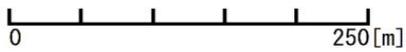
令和7年度
シカ防護柵に係る施設点検業務委託箇所(実測図)
鷹山国有林 33に林小班

縮尺: 1/5,000



事業内訳								
記番	林小班	作業種	区域数量	除外面積			請負数量	備考
				路網	その他	計		
1	33に	鹿防護柵設置	1.64				1.64	(km)

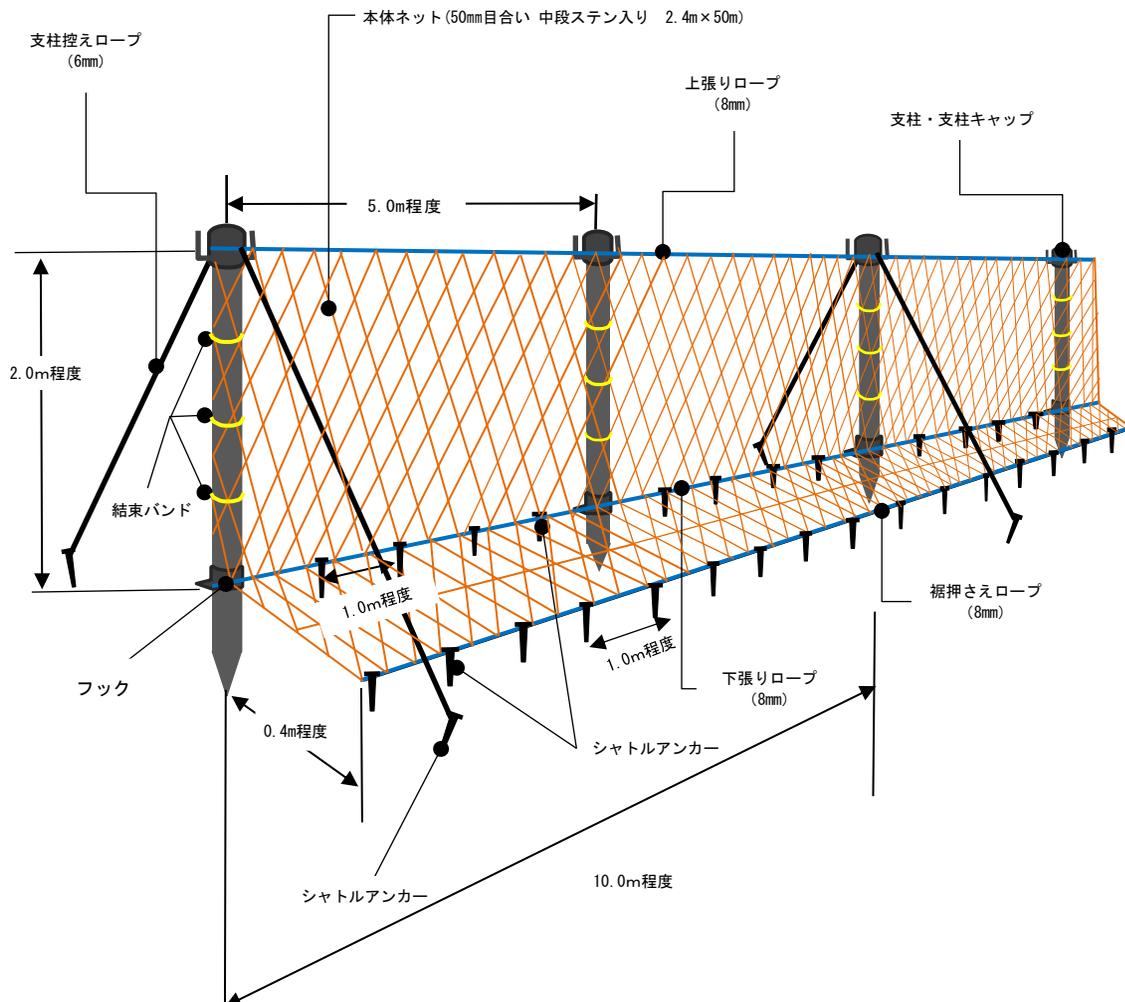
凡例	
防護柵設置	
開閉口	



1:5,000

鹿防護網（L字ネット）設置仕様書及び定規図

- 1 設置箇所は、発注者が指示した箇所とする。
- 2 鹿防護網は、下記の寸法を基本として設置すること。
- 3 鹿防護網設置箇所は枝条及び下草を取り除くこと。
- 4 支柱の間隔は5.0m程度とし、上張りロープが垂れ下がらないよう設置すること。
- 5 支柱と本体ネットは、上・中・下3箇所、結束バンドで固定すること。
- 6 下張りロープと押さえロープの間は、区域の外側に広げて地面に接するように敷くこと。
- 7 シャトルアンカーは、下張りロープに1.0m程度の間隔、裾押さえロープに1.0m程度の間隔で設置し、ロープと地面に隙間ができないようしっかりと固定すること。
- 8 支柱控えロープの固定は、シャトルアンカーを使用すること。
- 9 フックは支柱にしっかりと固定し、下張りロープを1回巻きつけること。
- 10 開閉できる出入口は図面に示されている箇所について作製すること。
- 11 修繕用資材の分配配置については、発注者が指示した箇所に配置する。
- 12 その他作業の実施に当たって疑問等のある場合は、監督職員と協議の上実施すること。

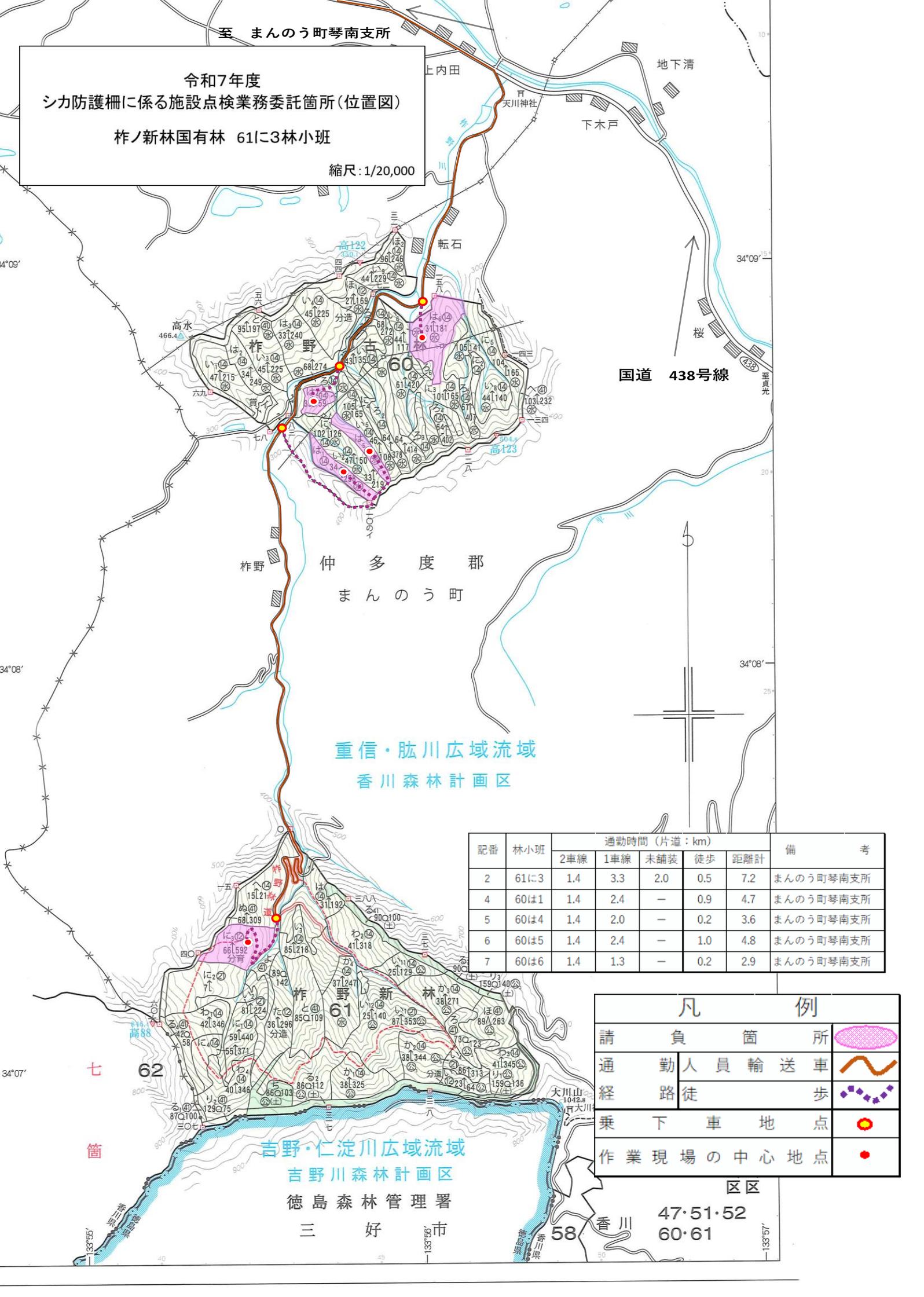


至 まんのう町琴南支所

令和7年度
シカ防護柵に係る施設点検業務委託箇所(位置図)

柵ノ新林国有林 61に3林小班

縮尺: 1/20,000



国道 438号線

重信・肱川広域流域
香川森林計画区

吉野・仁淀川広域流域
吉野川森林計画区
徳島森林管理署
三好市

記番	林小班	通勤時間 (片道: km)					備考
		2車線	1車線	未舗装	徒歩	距離計	
2	61に3	1.4	3.3	2.0	0.5	7.2	まんのう町琴南支所
4	60は1	1.4	2.4	-	0.9	4.7	まんのう町琴南支所
5	60は4	1.4	2.0	-	0.2	3.6	まんのう町琴南支所
6	60は5	1.4	2.4	-	1.0	4.8	まんのう町琴南支所
7	60は6	1.4	1.3	-	0.2	2.9	まんのう町琴南支所

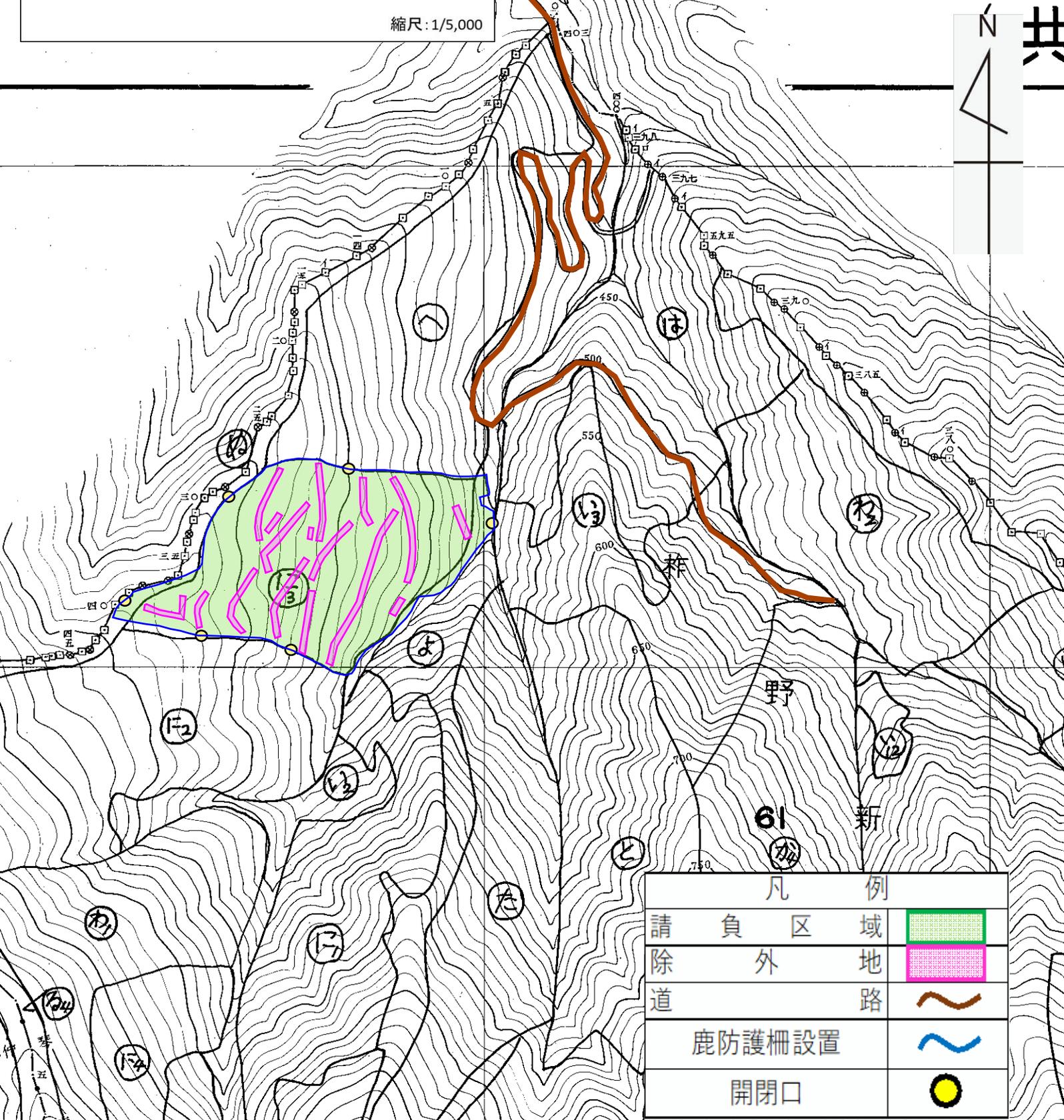
凡 例		
請 負 箇 所		
通 勤 人 員 輸 送 車		
経 路 徒 歩		
乗 下 車 地 点		
作 業 現 場 の 中 心 地 点		

47・51・52
60・61

令和7年度
シカ防護柵に係る施設点検業務委託箇所(実測図)

柞ノ新林国有林 61に3林小班

縮尺: 1/5,000



凡 例	
請 負 区 域	
除 外 地	
道 路	
鹿防護柵設置	
開閉口	

内 訳 表

記番	作業種	林小班	区域 数量	路網	その他	除外地 計	請負 数量	備考
2	地 拵	61に3	4.64		0.71	0.71	3.93	(ha)
2	植 付	61に3	4.64		0.71	0.71	3.93	(ha)
2	鹿防護柵設置	61に3	1.27				1.27	(km)

鹿防護網（L字ネット）設置仕様書及び定規図

- 1 設置箇所は、発注者が指示した箇所とする。
- 2 鹿防護網は、下記の寸法を基本として設置すること。
- 3 鹿防護網設置箇所は枝条及び下草を取り除くこと。
- 4 支柱の間隔は5.0m程度とし、上張りロープが垂れ下がらないよう設置すること。
- 5 支柱と本体ネットは、上・中・下3箇所、結束バンドで固定すること。
- 6 下張りロープと押さえロープの間は、区域の外側に広げて地面に接するように敷くこと。
- 7 シャトルアンカーは、下張りロープに1.0m程度の間隔、裾押さえロープに1.0m程度の間隔で設置し、ロープと地面に隙間ができないようしっかりと固定すること。
- 8 支柱控えロープの固定は、シャトルアンカーを使用すること。
- 9 フックは支柱にしっかりと固定し、下張りロープを1回巻きつけること。
- 10 歩道と接続する箇所は、開閉できる出入口を作製すること。
- 11 その他作業の実施に当たって疑問等のある場合は、監督職員と協議の上実施すること。

